

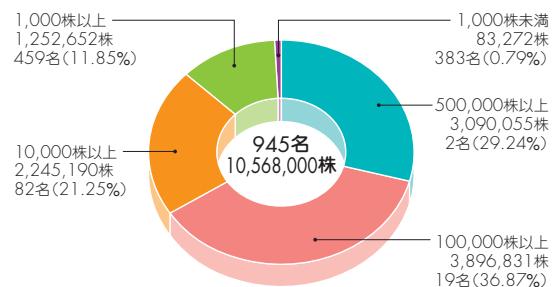
株式の状況 (平成26年9月30日現在)

■ 発行可能株式総数	45,568,000株
■ 発行済株式の総数	10,568,000株
■ 株主数	945名
■ 大株主 (上位10名)	

株主名	持株数	持株比率
ヤギ共栄会	920(千株)	10.96 (%)
株式会社みずほ銀行	414	4.93
ロイヤルカナン株式会社(ケヤマ)リミテッド	398	4.74
株式会社三井住友銀行	380	4.52
株式会社三菱東京UFJ銀行	305	3.63
ヤギ従業員持株会	285	3.39
第一生命保険株式会社	250	2.98
ビービーエフティティビューリタフティティ シリーズリンクオポチュニティズファンド	250	2.98
ビーエヌワイエムイーエヌビーエヌワイエム クライアントアカウントイービーエスジャパン	234	2.79
クロスプラス株式会社	219	2.61

(注) 持株比率は自己株式(2,169,255株)を控除して計算しております。

■ 所有株数別分布状況



株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日までの1年

定時株主総会の基準日 3月31日

剰余金の配当の基準日 期末配当 3月31日
中間配当を行うときは9月30日

単元株式数 100株

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社
の本店および全国各支店で行っております。

公告方法 電子公告とし、当社ホームページに掲載いたします。
なお、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
ホームページ
<http://www.yaginet.co.jp/ir/denshikoukoku.html>

【住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について】
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

【未払配当金の支払いについて】
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

株式会社 **ヤギ**

〒540-8660 大阪市中央区久太郎町二丁目2番8号
<http://www.yaginet.co.jp/>

2014

第103期

中間報告書

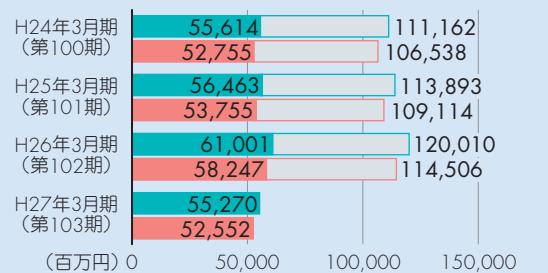
平成26年4月1日～平成26年9月30日

YAGI
New Power, New Speed

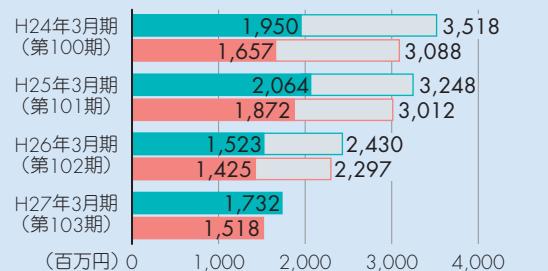
証券コード 7460

財務ハイライト

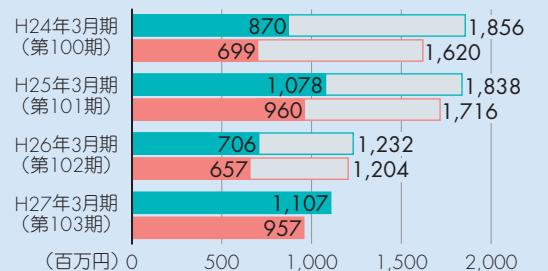
売上高



経常利益



中間(当期)純利益



本報告書は四半期決算短信の数値、文章を基に作成しております。その後公表される可能性がある訂正情報や業績予想の修正情報、決算の詳細につきましては金融庁EDINETや東証適時開示情報閲覧サービスおよび当社ホームページの掲載資料にてご確認ください。

株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社は平成26年9月30日をもって第103期（平成26年4月1日から平成27年3月31日まで）の前半を終了しましたので、ここに経営実績とともに事業概況をご報告申し上げます。

当中間期におけるわが国経済は、政府が推し進める積極的な経済政策、金融緩和を受け、雇用環境の改善や輸出関連企業を中心に収益の改善が見られるなど緩やかな回復基調が続いております。しかし、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動や、円安による輸入コストの上昇により弱い動きも見られ、また海外景気の下振れが、引き続きわが国の景気を下押しするリスクとなり、楽観視できない状況にあります。

繊維業界におきましても、一部の高価格商品の売行きは好調ですが、消費税率引上げによる消費マインドへの影響だけでなく、海外での人件費の上昇や、原油価格上昇により物流費が上昇し、そこに夏場の天候不順による販売不振に、為替がさらに円安となることで、以前より増して非常に厳しい経営環境の下、苦戦を強いられております。

このような状況の下、当社グループでは中期経営計画「Value Innovation 123」の初年度にあたり、重点施策である「中核事業の高収益化」「海外事業の拡大・新規事業の強化」「経営管理体制の高度化」を進めております。そのために差別化商材の供給力を強化し、優良取引先との取り組み深耕に注力し、また、香港を核にアセアン地域に縫製拠点を構築することで、繊維二次製品事業の拡大を目指すAGP（アセアン・ゲートウェイ・プロジェクト）と、タイを拠点にアセアン地域にテキスタイルの供給体制を確立するATC（アセアン・テキスタイル・コンバーティング）の両プロジェクトを進行させ海外事業の拡大に努めております。

この結果、当中間期の売上高は55,270百万円（前年同期比9.4%減）、営業利益は1,570百万円（前年同期比54.8%増）、経常利益は1,732百万円（前年同期比13.7%増）、中間純利益は1,107百万円（前年同期比56.8%増）となりました。

通期につきましても、引き続き経営環境は厳しいものと思われまます。当社グループといたしましては、中期経営計画「Value Innovation 123」を推し進め、企業価値の向上と経営体制の強化に努めてまいります。

当社グループの通期の業績予想につきましては、平成26年5月に公表しましたとおり、売上高120,000百万円、営業利益3,300百万円、経常利益3,200百万円、当期純利益2,050百万円を計画しております。

株主の皆様におかれましては、なにとぞ一層のご理解、ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成26年11月

代表取締役社長

八木秀夫



中期経営計画（平成27年3月期～平成29年3月期）

当社グループは、平成27年3月期を初年度とする中期経営計画「Value Innovation 123」を進行させております。

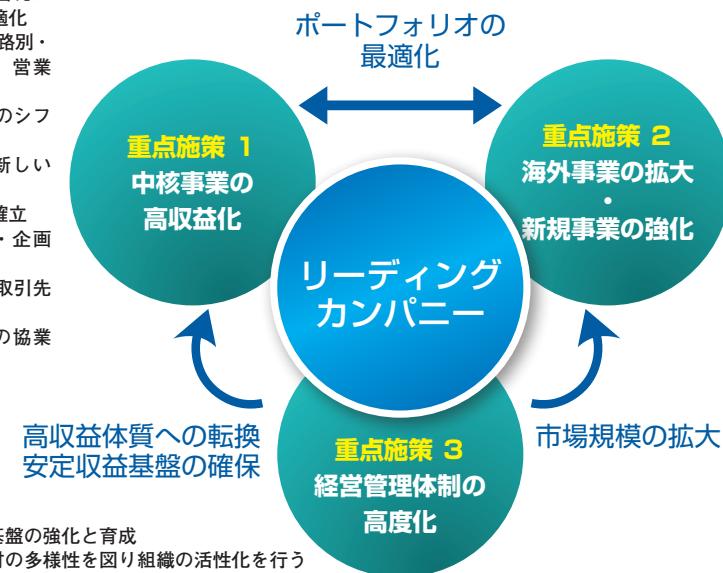
◆基本理念

社は「終始一誠意」を規範とし、新しい価値の創造とグローバルな挑戦を行い、人々の生活によるごびを与え豊かな社会に貢献していきます。

◆ビジョン

“New Power, New Speed”をスローガンに高収益化を図り、繊維商社のリーディングカンパニーを目指します。

1. 継続した事業の見直しと入れ替えによる事業ポートフォリオの最適化（中核事業を最適化するため販路別・アイテム別の組織編成とし、営業力を高める）
2. 為替変動に耐性のある商流へのシフト（ベターゾーンへのシフト、新しい販路への切り替えを行う）
3. 差別化戦略による競争優位の確立（素材提案力・コスト競争力・企画力と営業力を強化する）
4. スピードとリスクを両立した取引先の新規開拓（特に成長性のある取引先との協業を行う）
5. 売上高販管費率目標8%



1. 人的基盤の強化と育成

- a. 人材の多様性を図り組織の活性化を行う
- b. 次世代リーダー育成のための個性の高い人材教育を行う

2. グループ経営基盤の強化

- a. グループ会社統括室により国内外グループ会社の経営強化を図る（平成26年4月設置）

3. 先進的IT活用による業務プロセスの改革

- a. 業務効率化によりコスト削減を実行する
- b. 社内インフラの整備によりワークスタイルの改革を行う

1. 海外事業の拡大

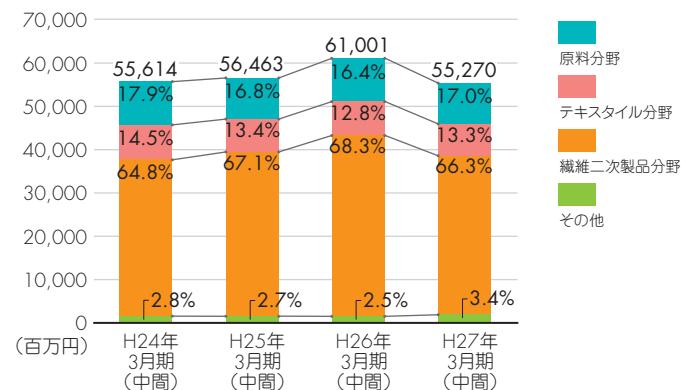
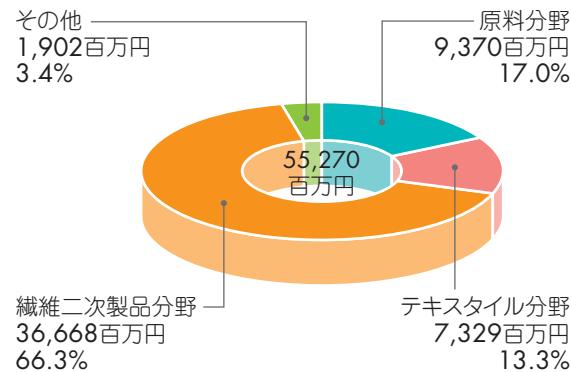
- a. アセアン・ゲートウェイ・プロジェクト（AGP）、アセアン・テキスタイル・コンバーティング（ATC）の確立と発展（アセアンでのFTA（自由貿易協定）拡大を睨み、原料と素材に独自性を持たせた二次製品までの一貫モデルを構築し、商材の差別化を図る）
- b. 海外戦略室を中心とした海外事業の拡大（平成26年4月設置）（AGP、ATCおよび海外各拠点と連携し海外生産・販売の拡大を進める）
- c. 物流機能の強化（生産・物流・販売の各システムを連動させ、顧客・商流ごとの個別最適物流を構築する）

2. 新規事業の強化

- a. 資材分野の拡大（省エネ・環境・安全を軸とした新しい商材を開発し、商流を構築する）（原料・素材の複合化、特殊加工技術の活用によるオリジナル製品を開発し拡販する）
- b. M&A・アライアンスによる新規事業強化（事業範囲の拡大、高収益を実現する）

分野別の概況

分野別売上高構成比 平成27年3月期中間



原料分野



原料分野では、天然繊維原料が円安の影響による原料高で苦戦しましたが一部の産地は堅調に推移しました。長繊維原料は資材やスポーツ衣料、高級衣料向けが好調ながら、円安や原油高により生産コストがさらに上昇し、特に特殊加工を施した原料販売が拡大しましたが、加工背景のキャパシティが縮小しているため対応に追われました。

このような状況の下、当社グループは、優良取引先との取り組みを深め、複合加工された高機能糸の販売強化を図り、生産を集約することで加工効率を高め、ロスの削減に努めてまいりました。

この結果、原料分野は売上高9,370百万円（前年同期比6.1%減）となりました。

売上高の推移



テキスタイル分野



テキスタイル分野では、特殊な機械や素材を使い、付加価値のある加工を施した編地に人気が集まり編みや染色のスペースが満杯となりました。しかし、一般的な商品は原料や染色加工賃の値上がり分を販売先に転嫁することが難しく苦戦しました。また、合織関係の生地は、内販向け編地では今後の値上げを見越した発注が出たうえ、円安の影響で輸出織物が好調となり慢性的なスペース不足に陥り対応に追われました。

このような状況の下、当社グループは、販売戦略の要である「テキスタイル・プロジェクト」において、素材企画力を活かし売れ筋商品の開発をすることで販売強化に努めましたが、後半は天候不順による前売り状況の悪さが生地販売にも大きく影響し苦戦を強いられました。

この結果、テキスタイル分野の売上高は7,329百万円（前年同期比6.3%減）となりました。

売上高の推移



繊維二次製品分野



繊維二次製品分野では、経済の緩やかな回復基調により百貨店や専門店向けで一部高価格品が好調でしたが、消費税率引上げによる駆け込み需要の反動と消費マインドの低迷、円安や海外での人件費高騰による輸入原価の上昇、原油高による物流経費の増加に、夏場の天候不順が加わり大変苦戦を強いられました。ただし、9月に入り涼しさが増すことで秋物の動きが見られるようになりました。

このような状況の下、当社グループは、企画段階から請け負い、製造し供給するODM生産を推進してまいりました。また、オリジナル商材を開発するなど競争力の強化にも努めてまいりました。

この結果、繊維二次製品分野の売上高は36,668百万円（前年同期比12.1%減）となりました。

売上高の推移



中間連結貸借対照表（要約）

(単位：千円)

科目	平成27年3月期中間 (平成26年9月30日現在)	平成26年3月期 (平成26年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	46,650,509	41,756,776
固定資産	14,521,845	12,351,992
有形固定資産	4,476,608	4,518,857
無形固定資産	1,294,715	8,474
投資その他の資産	8,750,521	7,824,660
資産合計	61,172,354	54,108,769
(負債の部)		
流動負債	24,804,768	19,308,340
固定負債	7,495,749	7,364,326
負債合計	32,300,517	26,672,666
(純資産の部)		
株主資本	26,785,722	25,863,077
資本金	1,088,000	1,088,000
資本剰余金	805,188	805,188
利益剰余金	26,521,979	25,599,293
自己株式	△ 1,629,445	△ 1,629,404
その他の包括利益累計額	2,081,529	1,568,359
少数株主持分	4,584	4,665
純資産合計	28,871,836	27,436,102
負債・純資産合計	61,172,354	54,108,769

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結損益計算書（要約）

(単位：千円)

科目	平成27年3月期中間 平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで	平成26年3月期中間 平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで
売上高	55,270,732	61,001,042
売上原価	48,497,776	54,490,046
売上総利益	6,772,955	6,510,996
販売費及び一般管理費	5,202,486	5,496,388
営業利益	1,570,468	1,014,607
営業外収益	226,678	597,178
営業外費用	64,733	88,123
経常利益	1,732,413	1,523,662
特別損失	22,266	355,939
税金等調整前中間純利益	1,710,147	1,167,723
法人税等	603,009	461,576
少数株主損益調整前中間純利益	1,107,137	706,146
少数株主利益	△ 79	△ 61
中間純利益	1,107,217	706,208

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結キャッシュ・フロー計算書（要約）

(単位：千円)

科目	平成27年3月期中間 平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,112,552
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,462,742
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,696,571
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 1,756
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 880,480
現金及び現金同等物の期首残高	2,506,403
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,625,923

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

会社の概要（平成26年9月30日現在）

社名 株式会社 ヤギ
 英文社名 YAGI & CO.,LTD.
 創業 明治26年10月16日
 設立 大正7年4月28日
 資本金 1,088,000,000円
 主要な事業内容 綿化繊維糸、合繊維糸、綿化繊維物、合繊維物、ニット生地および衣料品等の各種繊維二次製品の国内販売ならびに輸出入
 主要な事業所 (国内)本店 大阪市中央区久太郎町二丁目2番8号
 支店 東京(東京都中央区)、福井(福井市)
 出張所 名古屋(名古屋市中区)
 営業所 和歌山(和歌山市)
 (海外)駐在員事務所 上海(中国)、広州(中国)、ホーチミン(ベトナム)
 代理店 ミラノ(イタリア)
 イスタンブール(トルコ)

役員

代表取締役社長 八木 秀夫
 代表取締役専務取締役 朝野 幸博
 取締役 中根 巖
 取締役 藤邊 直
 取締役 八木 隆夫
 取締役 長戸 隆之
 取締役 山岡 一朗
 監査役(常勤) 大原 弘幸
 監査役 奥村 忠司
 監査役 池田 佳史

(注) 1. 役員の場合は平成26年10月1日現在のものです。
 2. 監査役奥村忠司氏および池田佳史氏は、社外監査役であります。

当社グループ会社の状況

連結子会社	会社名	所在地	資本金	当社の出資比率	主要な事業内容
連結子会社	株式会社八木ビル	大阪市中央区	100百万円	100%	不動産賃貸業
	日本パフ株式会社	大阪府寝屋川市	50百万円	100%	化粧用パフおよび外衣製造
	株式会社ヴィオレッタ	大阪市城東区	95百万円	99.75%	編レース製造
	YAGI & CO., (H.K.) LTD.	香港	11百万香港ドル	100%	繊維製品およびその原料の輸出入販売
	株式会社マルス	大阪市中央区	60百万円	100%	不動産賃貸業
	株式会社リープスアンドパウンズ	東京都渋谷区	10百万円	100%	カジュアルウェア・かばん・袋物の製造販売
非連結子会社	株式会社ソレイユ	石川県加賀市			編レース製造
	株式会社TILA MARCH JAPON	東京都中央区			バッグ・シューズの小売
	日帕化粧用具(嘉善)有限公司	中国浙江省嘉善県			化粧用パフの製造
	譜洛革時(上海)貿易有限公司	中国上海市			繊維製品の販売
	八木貿易(深圳)有限公司	中国広東省深圳市			原料・テキスタイルの販売
	ピーティ サンダン マジュー レスタリ	インドネシア・ジャカルタ			繊維製品の販売
	保定八木化繊有限公司	中国河北省保定市			複合加工糸の製造・販売
モンドヤギラオカンパニーリミテッド	ラオス・ヴィエンチャン			スーツの製造	
YAGI & CO., (MYANMAR) LTD.	ミャンマー・ヤンゴン			縫製品の生産管理業	
SOCAL GARMENT LLC	アメリカ合衆国・カリフォルニア州			衣料品の製造・販売	
TATRAS JAPAN 株式会社	東京都渋谷区			衣料品の製造・販売	
TATRAS S.R.L.	イタリア・ミラノ			衣料品の製造・販売	
株式会社ストラダエスト	東京都渋谷区			衣料品の製造・販売	
関連会社	フジサキテキスタイル株式会社	東京都墨田区			テキスタイルの販売
	株式会社コージィコーポレーション	大阪市中央区			衣料品の販売
	山東華発絲綢服装有限公司	中国山東省昌邑市			婦人服等の製造
	濰坊魯發服装有限公司	中国山東省昌邑市			婦人服等の製造
	江西四季社服飾有限公司	中国江西省崇仁県			婦人服等の製造
	ケーピーヤギラオカンパニーリミテッド	ラオス・ヴィエンチャン			スーツの製造